

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
58	05	25	26	15	05	子育て支援事業		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		横田	64813

事業の概要									
事業の概要		育児の基礎知識習得や子どもの成長・発達、子育てに関する課題の学習により子育て当事者の育児力向上を図る。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費		
		平成27年度		—					
地域の課題と現状		核家族化や少子化が進み、子育てに対する不安の増大や、子育て世代の孤立化が社会の課題となっている。子育て家庭の孤立化を防ぎ、安心して子育てを行うためには、子育て家庭への支援にとどまらず、地域全体で子育てを支える地域づくりが必要である。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	942	733	855	760	884	745		
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
財源内訳	一般財源	942	733	855	760	884	745		

計画 (Plan)	
事業の目的	地域人材や団体と連携しながら子育て中の親子等が交流・学習する機会や様々な場の提供をし、子育て力の向上を図り、子どもが健やかに育ち、子育てしやすいまちづくりを目指す。
今年度の事業の取組内容	親育ち支援事業「赤ちゃんがきた!」、高津区子ども・子育てフェスタ事業を実施する。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	2		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	親育ち支援事業は、4週連続の参加型講座を4回実施。母子76組が参加。また、11月16日（土）に高津区子ども・子育てフェスタを開催。中学生までのこどもとその保護者を対象に、子育てグループ、子育て団体・機関などが催し物や展示などを実施した。来場者は2,000人、出展団体は32団体。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	親育ち支援事業「赤ちゃんがきた！」の実施	目標	4	4	4		回
				実績	4	4	4		
	2	成果指標	高津区子ども・子育てフェスタの開催（来場者）	目標	100	1,000	1,200	人	
				実績	114	1,600	2,000		
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価（Check）				
事業を取り巻く 社会環境の変化		高津区は出生数や子育て世帯の転入が多い。子育てで不安・孤立化を防ぎ、子育て力の向上と、安心して子育てのできる地域づくりのため、子育てに関する学習や当事者間や地域支援者との交流などが必要とされる。また、地域の子育ての仲間作りにつながる情報を提供し、子育ての不安を取り除く場を提供するとともに、地域の支援機関や団体などと協働することで、地域全体で子育てを支えている意識の向上を図ることも必要である。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施（直近）6 年度 □ 今後実施（ 年度から）		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		親育ち支援事業について、従来は電話受付のみの対応だったが、Logoフォームの申請を導入し、市民の利便性の向上につなげた。		
評価項目		評価		
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	子育てしやすい環境づくりに加え、子育て世代の孤立化、子どもの居場所づくりなど個別の課題にも対応が必要である。		
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	親育ち支援事業を通し、子育て当事者間と支援者相互の関係を活用した支援を実施することで、親としての成長も担え事業の成果は上がっている。子ども子育てフェスタの開催を通じて関係団体等との連携強化が図られ、区民への情報提供に生かすことができた。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	親育ち支援事業については、現在の事業執行体制が適当であると考えている。子ども子育てフェスタについては、社会状況や費用対効果等を分析し、適切な事業規模、実施方法を検討していく。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	親育ち支援事業では、育児不安や孤立化の軽減のため、当事者間・支援者と当事者の相互関係をいかした支援を実施し、早い時期から子育ての仲間作りができるよう講座を開催し、安心して子育てができる地域づくりにつなげる。次年度は、より多くの参加につながるよう実施場所の拡充を検討している。また、子ども子育てフェスタは引き続き、子育ての不安を軽減し、地域全体で子育てを支える意識の向上を図る場となるよう、来年度も開催予定。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	10	子育てネットワーク推進事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			675110		地域みまもり支援センター・地域ケア推進課/保育所等・地域連携			長岡/一木	64813/64852

事業の概要

事業の概要		地域で支え合いながら子育てできる環境向上のため、地域の関係機関や団体等が連携し、区内の子ども・子育て支援のネットワークの強化を図り、子育てしやすいまちづくりを推進する。子ども・子育てネットワーク会議や子育て支援者スキルアップ講座などを実施する。							
		事業開始年度 平成27年度		事業終了年度 —		予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費	
実施期間									
地域の課題と現状		都心へのアクセスも良く、子育て世帯の転入も多く、安心して子育てを行たためにも地域の子育て情報の提供や、地域人材・団体とのマッチングへのニーズは高い。SNS等で情報が溢れているからこそ、区民が身近な場所で、直接情報を手に取ったり、つながる場所や体験の提供が必要である。							
予決算 （単位：千円）	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	416	258	372	291	345	193		
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
財源内訳	一般財源	416	258	372	291	345	193		

計画 (Plan)

事業の目的		地域の関係機関がネットワークを構築し連携することにより、子育てしやすいまちづくりと地域のつながりづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容		・子ども・子育てネットワーク会議…年3回会議を開催するとともに、必要に応じて部会を開催し、講演会の検討等を行う。 ・子育て支援者スキルアップ講座 …子ども・子育てに関わる課題をテーマとして、専門分野の講師により関係機関や支援者のための研修会を実施する。 ・子育て交流会(きっとみつかるよ！楽しい仲間！)…年1回開催し、子育てグループの活動等について情報提供を行う。 ・子育てグループ見学会…つながりづくりのための見学会を年1回以上実施する。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	・子ども・子育てネットワーク会を3回、研修・企画部会及び情報部会を2回、子育てグループ支援部会を4回開催した。 ・子育て支援者スキルアップ講座は、2月5日に「言葉の力が心を育てる」をテーマに臨床心理士横内彌生氏を講師に招き実施。 ・子育てグループ交流会(「きっとみつかるよ楽しい仲間」)については、参加した子育てグループの活動内容や魅力等について区民に届けることができた。 ・区内で活動している子育てグループ見学会については、参加者が少ない等の課題があったことから実施を見送り、今後の対応等について部会の中で検討を行った。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	子ども・子育てネットワーク会議の開催(開催回数)	目標	3	3	3		回
				実績	3	3	3		
	2	成果指標	子育て支援者スキルアップ講座の開催(参加者)	目標	40	60	50		人
				実績	63	43	44		
	3	成果指標	子育て交流会「きっとみつかるよ楽しい仲間」の開催(参加者)	目標	20	30	20		人
				実績	30	0	33		
	4	活動指標	子育てグループ見学会の実施(実施回数)	目標	1	1	1		回
				実績	0	3	0		

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、子育て当事者の子育て不安や孤立化を防ぐため、地域の関係機関や団体等と連携し、地域交流の機会(場)の提供や子育てを支える地域づくり(ネットワーク)の強化を推進する必要がある。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 4 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		子ども・子育てネットワーク会議における専門部会の数について、各部会の内容等を精査し、3つから2つに統合をした。		
評価項目				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			評価
				a. 薄れていない b. 薄れている a
有効性	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く子育て当事者の子育て不安や孤立化を防ぐため、地域の関係機関や支援団体等が連携し、子育てに優しい街づくりを継続して実施する必要がある。		
	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない a		
効率性	評価の理由	区民、関係機関、団体等と子ども・子育て支援の課題について協議し、課題解決のため各事業を協働して実施した。		
	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある b		
効率性	評価の理由	地域の関係機関や支援団体等がそれぞれの強みを活かせるような更なる連携を模索する。コロナ後一定期間が経過し、現状を把握した中で、子育て交流会や見学会の実施方法など効果的な方法を検討する必要がある。		

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	年間の出生数や子育て世帯の転入が多い高津区において、子育て不安や孤立化を軽減し子育てしやすい街づくりを目指すことは必要であり、関係機関や支援団体等とのネットワークの強化が重要となっていくため、担い手の発掘や育成へも力を入れながら、市民主体の活動へ支援していく必要がある。コロナ後一定期間が経過し、地域活動の状況等が見え始めつつあるので、現状を踏まえた事業を継続、実施していく。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
58	05	25	26	15	15	子育て情報発信事業		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課/保育所等・地域連携		中島/一木	64814/64851

事業の概要									
事業の概要		子育て中の区民のニーズに合った地域の子育て情報がさまざまな手段で得られるよう、子育てガイドブック「ホッとこそだて・たかつ」やリーフレットを発行するとともに、ホームページやアプリなどを通じて情報の提供を行う。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費		
		平成27年度		—					
地域の課題と現状		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,120	1,012	1,121	1,075	1,230	1,101		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
		その他特財	180	105	180	135	180	105	
		一般財源	940	907	941	940	1,050	996	

計画 (Plan)	
事業の目的	子育て中の親の立場に立った、より身近な子育て情報を発信し、安心して子育てできるまちづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	・子育て情報ガイドブック「ホッとこそだて・たかつ」の発行(7,000部発行) ・区内地域子育て支援センターリーフレットの作成・配布 ・ホームページの作成・更新

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	・子育て情報ガイドブック「ホッとこそだて・たかつ」（第19版）を7,000部発行し、関係機関や母子手帳を取りに来た保護者や子育て世代の転入者等に配布するとともに、ホームページにも掲載し、区内の子育てに関する情報を提供した。 ・区内地域子育て支援センターリーフレットを3,000部発行し、区内の関係施設等に配布したほか、ホームページや市政だより等で地域子育て支援センターの情報を提供した。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	子育て情報ガイドブックの発行	目標	7,000	7,000	7,000		部
				実績	7,000	7,000	7,000		
	2	活動指標	区内地域子育て支援センターリーフレットの発行	目標	5,000	5,000	3,000		部
				実績	3,000	3,000	3,000		
	3	成果指標	ホッとこそだてたかつホームページアクセス数	目標	3,000	3,000	3,000		件
				実績	3,608	2,872	2,607		
	4			目標					
実績									

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 6 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		令和4年度 広告募集を実施した。7枠の広告収入があった(105,000円) 令和5年度 広告募集を実施した。9枠の広告収入があった(135,000円) 令和6年度 広告募集を実施した。7枠の広告収入があった(105,000円)		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多い。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	紙媒体やホームページ等さまざまな形で情報提供することが出来た。引き続き広く情報発信・提供することが必要である。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。発行部数については毎年度精査する。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	子育て中の区民のニーズに合った地域の子育て情報を、手段などを精査しながらガイドブックやホームページを通じて、より親子のニーズに合った情報を提供する。ホームページについては、必要に応じて内容の更新を行う。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
58	05	25	26	15	35	高津区待機児童対策推進事業		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			675150		地域みまもり支援センター児童家庭課		三澤	64873

事業の概要									
事業の概要		保育園利用予定者の個々のニーズに合った保育園選定の参考となるよう、区内保育園の案内映像を作成し、WEBで公開するとともに、保育所等の位置を示した「高津区子育て施設マップ」の改訂版や、早期の情報提供手段としてのパンフレット「高津区で始めよう保育所さがし」を配布することで、情報提供の充実を図ります。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費		
		平成26年度		—					
地域の課題と現状		高津区では、毎年4月の利用申請者数が市内でも比較的多い状況にある中、子どもや子育ての支援を要する区民のニーズに応えるため、待機児童対策の取組を推進する必要があります。令和6年4月における保育所等の保留者も242名と依然高い水準にあることから、「待機児童ゼロ」を達成するためには、認可保育所だけでなく、認可外保育所等も含めたマッチングが重要であり、その実現に向けては、子育て世帯に対して必要な情報をより効果的に提供していくことが必要となります。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	891	650	1,080	825	1,149	907		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
一般財源	891	650	1,080	825	1,149	907			

計画 (Plan)	
事業の目的	利用者が個々のニーズにより適合した保育所の選択が可能となるよう、保育園の利用を検討する市民への情報提供の充実化を図ります。
今年度の事業の取組内容	区内認可保育園等の案内映像(90秒/園)の制作と動画投稿サイト(川崎市たかつく区チャンネル)への公開。高津区子育て施設マップ(改訂版)の作成。パンフレット「高津区で始めよう保育所さがし」の作成と配布。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度			3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等			区内保育園園15園について、施設紹介動画（90秒/園）を制作し、動画投稿サイト（川崎市たかつくチャンネル）に投稿・公開した。また、区内の保育施設を示したマップを4000部予定どおり作成し、新年度の保育園利用案内と併せて配布した。また、パンフレットについてはデザインを変更し新たに2500部作成し、令和7年3月から配布を開始した。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	区内保育園の施設紹介動画の制作と動画投稿サイトでの公開	目標	17	15	15		園
				実績	11	14	15		
	2	活動指標	高津区子育て施設マップの作成	目標	4,000	4,000	4,000		部
				実績	4,000	4,000	4,000		
	3	活動指標	パンフレット「高津区で始めよう保育所さがし」作成	目標	1,200	1,000	1,200		部
				実績	1,800	1,500	2,500		
	4			目標					
実績									

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の影響に伴って保護者の子育ての考え方やニーズが多様化している中、「待機児童ゼロ」を達成するためには、認可保育所だけでなく川崎認定保育園等も含めたマッチングが引き続き必要な状況にあります。				
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近)	☐ 年度	☐ 今後実施 (	年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載						
評価項目						
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか				a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	昨今の社会状況の中、保護者のニーズも多様化しており、施設紹介映像については、保育園の新設や認可化等による定員変更等がある中、双方のマッチングを的確に行うために引き続き最新の状況を反映していく必要があると考えます。				
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか				a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	過去のアンケート調査にて施設紹介映像を視聴した90%が「分かりやすかった」と評価していること、また、動画投稿サイトにおける累計再生回数も17万件を超えていることから、一定の成果があると考えます。				
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。				a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	施設紹介動画にの作成にあたっては、映像の更新(再撮影)を計画的に行うとともに、軽微な変更についてはテロップで対応するなど、撮影数や仕様について必要最小限の範囲で行っており、事務改善の可能性は少ないと考えます。				

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	I．現状のまま継続 II．見直し・改善のうえ継続 III．事業終了	I	「待機児童ゼロ」を達成するためには、引き続き認可保育所等だけでなく、川崎認定保育園等を含めたマッチングが必要であり、そのための有効なツールとして、本事業を継続することが必要であると考えます。